

当院での食物経口負荷試験

《食物経口負荷試験とは？》

食物アレルギーの診断手順

1 問診 (Step1) アレルギーが出た時のことを詳しく聞いてもらいましょう
何を食べていたらどのくらいで何が起こったか詳しく聞いてもらいましょう。
場合によっては、「食物日誌」が役立ちます。

2 検査 (Step2) これらは診断を補助する検査です
IgEを証明するための検査として
血液検査
皮膚試験

食事との関連性を
みるための試験
除去試験

3 食物経口負荷試験 (Step3) 確定診断のための検査
実際に食べてみてアレルギー症状が出るか調べる
検査です。

4 診断確定 除去の程度を決めてもらいましょう。

①血液検査結果が高く、
未摂取の食物の診断

②問診から疑われる食物が、
原因食物であるかどうかの確認

③現在、摂取可能な量の確認

《食物経口負荷試験までの流れは？》

小児科外来を受診（小児アレルギー専門外来：月・火・水）

①外来にて詳細な問診・診察、
必要があれば検査を行います。

1 問診(Step1)アレルギーが出た時のことを詳しく聞いてもらいましょう
何を食べていたらどのくらいで何が起こったか詳しく聞いてもらいましょう。
場合によっては、「食物日誌」が役立ちます。

2 検査(Step2)これらは診断を補助する検査です
IgEを証明するための検査として
血液検査
皮膚試験

②必要であれば、食物経口負荷試験を予約します。

当日の流れ・書類などを説明します。

3 食物経口負荷試験(Step3)確定診断のための検査
実際に食べてみてアレルギー症状が出るか調べる
検査です。

《当日の持ち物》



- アレルギー症状出現時のお薬
- 入院食物負荷試験チェック表
- 負荷試験で摂取する食物（必要な方のみ）
- 負荷食物を摂取しやすくするもの（ごはんやジュースなど）
- 水やお茶
- スプーン、フォーク、お箸など
- お気に入りの玩具など
（2時間ベッド上安静となるため、お子様のご機嫌にすごすためのアイテム）
- 入院になった場合の必要物
（小児科入院のしおり参照：入院決定時にお渡しします）

《午前 of 負荷試験の場合》



~8:45	入院受付後、5階病棟へ
9:00頃	診察、体温や血圧を測定する
9:30頃	負荷食物を摂取する (分割して摂取の場合は60分後に摂取) 定期的に症状出現がないか確認
12:00頃	昼食
13:00頃	会計後、退院
☆☆☆	食物アレルギー症状が出現した場合は、必要な処置・経過観察を行います。症状によっては1泊入院となる可能性もあります。

《午後の負荷試験の場合》



～13:30頃	入院受付後、5階病棟へ
13:45頃	診察、体温や血圧を測定する
14:00頃	負荷食物を摂取する 定期的に症状出現がないか確認
16:30頃	会計後、退院
☆☆☆	食物アレルギー症状が出現した場合は、必要な処置・経過観察を行います。症状によっては1泊入院となる可能性もあります。

診察、体温・血圧測定



当日の体調checkを行います。

体調が悪くと、アレルギー症状
が出やすくなってしまう。

- ・ 体調が整っているか？
- ・ 湿疹はないか？
- ・ 喘鳴はないか？

など、負荷試験前に確認します。

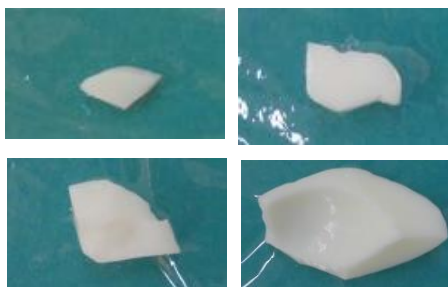


負荷食物の摂取

あらかじめ決定していた量の負荷食物を摂取します。



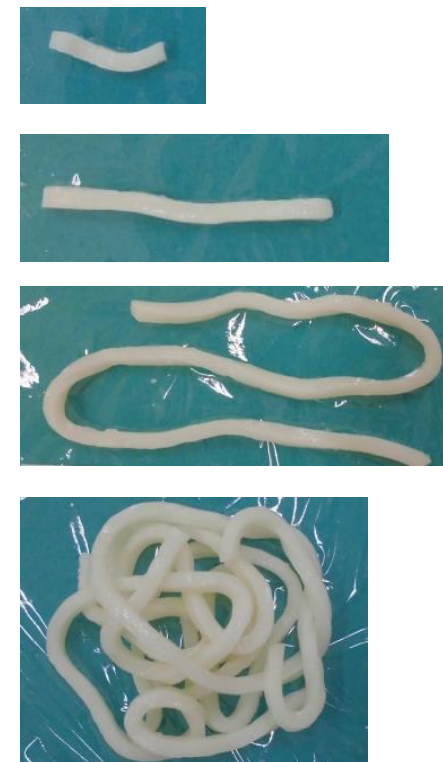
◆ 鶏卵



◆ 牛乳



◆ 小麦 (うどん)



負荷食物摂取後の経過を観察

下記のような食物アレルギー症状が出現しないか、確認します。
症状出現時には、内服・注射・点滴など必要な処置を行い、
基本的に症状が消失するまで経過をみます。

病院での負荷試験は、
症状出現時に速やか
に対応できることが、
メリットのひとつ

◎皮膚の症状

かゆみ、じんま疹、赤み(紅斑)

◎目の症状

結膜の充血、かゆみ、まぶたの腫れ

◎口・のどの症状

口・のどの中の違和感、
イガイガ感、唇・舌の腫れ

◎鼻の症状

くしゃみ、鼻汁、鼻づまり



◎呼吸器の症状

声がかすれる、犬が吠えるような咳、のどがしめ付けられる感じ、咳、
息が苦しい、ゼーゼー・ヒューヒューする(ぜん鳴)、低酸素血症

◎消化器の症状

腹痛、吐き気、おう吐、下痢

◎循環器の症状

脈が速い(頻脈)、脈が触れにくい・脈が不規則、手足が冷たい、
唇や爪が青白い(チアノーゼ)、血圧低下

◎神経の症状

元気がない、ぐったり、意識もうろう、不機嫌、尿や便を漏らす(失禁)

負荷試験終了



- 食物アレルギー症状がない場合は、最終負荷食物摂取2時間、食物アレルギー症状が出た場合は、症状が消失し全身状態が落ち着けば、負荷試験終了です。
- 次回病院受診までの、ご自宅での負荷食物の摂取方法について説明します。
- 栄養管理士から、具体的な調理方法・摂取方法や、除去食物の栄養素を補充する方法なども含めて、栄養食事指導を行います。

